

平成30年度進捗評価シート
宇治市歴史的風致維持向上計画（平成24年3月5日認定）
（最終変更平成30年3月23日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観形成助成制度の啓発	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 史跡整備事業	3
2 情報発信・観光交流施設整備事業	4
3 重要文化的景観保存事業	5
4 歩道整備事業	6
5 歩行空間整備事業	7
6 無電柱化事業	8
7 観光施設周辺浸水対策事業	9
8 観光サイン等整備事業	10
9 建物修景助成事業	11
10 屋外広告物助成事業	12
11 宇治茶園支援事業	13
12 宇治茶品質向上事業	14
13 宇治茶普及啓発事業	15
14 市営茶室対鳳庵活用事業	16
15 宇治川鵜飼助成事業	17
16 宇治十帖スタンプラリー開催	18
17 京都・宇治灯り絵巻の開催	19
18 文化財見学会	20
19 歴史・文化啓発事業	21
20 文化的景観整備計画策定調査	22
21 観光交通対策検討調査	23
22 空き町家の活用検討調査	24
23 観光周遊道路の整備検討調査	25
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	26
2 文化財の防災	27
3 文化財の保全及び活用の普及・啓発	28
4 埋蔵文化財の取扱い	29
5 文化財の保存・活用に関わる 住民・NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備	30
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 神馬が勇ましく馳せる 悪疫退散を祈願	31
2 コース短縮も大勢が参加 宇治十帖スタンプラリー	32

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	33
-------------------------	-------	----

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 計画の進捗管理や計画の変更・追加について、関係課から庁内意見を調整し、「宇治市歴史的風致維持向上協議会」に意見を伺うこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

学識経験者、文化財所有者、各種関係団体及び行政関係者により構成される宇治市歴史的風致維持向上協議会を開催し、計画の進行管理・評価などについて、意見を聞くことができた。

【定量的評価】

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催回数 : 1回

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催状況

実施期間	種別	検討事項等
平成30年5月18日	第1回 歴史的風致維持向上協議会	<p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成29年度の主な事業内容の報告について <ul style="list-style-type: none"> ・史跡整備事業 ・無電柱化事業(市道宇治228号線の追加検討) ・宇治川鵜飼助成事業 2. 歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について 3. 歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信・観光交流施設整備事業 ・お茶の京都博 ・文化財保護法の改正



宇治市歴史的風致維持向上協議会開催の様子

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
景観形成助成制度の啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 「宇治市景観計画」においては、「悠久の歴史と自然を今に活かしふるさと宇治を誇り伝えん」とした基本理念のもと、市内全域を景観計画区域とし、8つに区分されたそれぞれの区域ごとに景観形成誘導指針及び屋外広告物に関する行為の制限を示している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する建築物や屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしている。景観重要公共施設の沿道の助成対象区域において景観形成助成制度の啓発チラシにより、制度の周知をすすめた。また、屋外広告物助成事業については、市の広報紙「市政だより」による周知も行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

屋外広告物の改善費を助成

屋外広告物の設置、除却等に係る工費で、著しく景観に寄与するもの(ただし、年度内に完了し、年度内に完了検査を受けられるもの) (対象区域) 景観計画重点区域 (交付額) 工事費の2分の1以下(限度額50万円) (補助件数) 予算額の上限に達するまで(先着順) (甲)5月16日(水)~12月14日(金) (延長の場合あり)までに、歴史まちづくり推進課へ。

市政だよりによる記事

助成対象区域で配布した啓発チラシ

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

史跡整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------	---

事業期間	平成25年度～令和2年度
------	--------------

支援事業名	歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業
-------	--------------------

計画に記載している内容	<p>壮大な築堤状況が体感できる空間整備と茶園景観の修景とを一体的に行い、多くの市民や来訪者に本市の歴史・文化の総合的理解を促す。</p>
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡整備事業は、機能時と埋没時の宇治川太閤堤を再現し、太閤堤の果たした役割と歴史の重層性を表現することとしている。

Aゾーンは機能時の太閤堤の護岸施設と宇治川を再現する。遺構再現では、太閤堤の石張り部をGRCパネル、石積み部を遺構と同種の石と杭で再現する。平成30年度は給排水設備・電気設備・園路整備等をおこなった。

Bゾーンは砂に埋もれた太閤堤の護岸施設と、砂州で営まれた茶園景観を復元整備する。平成30年度は、遺構の復元整備の資料を得るため、石出し4の北に延びる石垣状遺構の発掘調査を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等



遺構再現整備の様子(平成31年3月)
デッキ側より



遺構再現整備の様子(平成31年3月)
松杭再現箇所

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況

情報発信・観光交流施設整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	---

事業期間	平成27年度～令和2年度
------	--------------

支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
-------	-------------------------

計画に記載している内容	史跡宇治川太閤堤跡の隣接地において、市民と来訪者が利用できる、宇治の歴史や文化を情報発信する施設の整備を行う。当該事業により、宇治橋周辺地域の散策ルートの起点となる場所が確保され、来訪者の目的に応じたまちなか散策を円滑に誘導するとともに、宇治の歴史や文化を総合的かつ分かりやすく伝えることができる。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

施設整備に先立ち、社会資本整備総合交付金の交付を受け用地取得を行い、事業予定地の取得を概ね完了した。本事業をPFI方式で実施するにあたり、事業者及び関係機関と契約締結を行い、設計業務に着手した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度の計画の達成に向けて事業者及び関係機関と協議・調整を図っていく。
--	---------------------------------------

状況を示す写真や資料等



(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園整備イメージ

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況

重要文化的景観保存事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	---

事業期間	平成24年度～
------	---------

支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助
-------	-----------------

計画に記載している内容	重要構成要素の修理事業を実施し、積極的な活用を図ることにより、賑わいのある沿道景観の魅力向上や伝統的な茶業の継承に寄与する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要文化的景観「宇治の文化的景観」の景観重要構成要素である岩井勘造商店茶工場・倉庫の耐震診断・改修計画策定を行った。また、災害復旧工事として、中村藤吉本店、山本家住宅、福文製茶場、通円茶屋、岩井勘造商店で実施した。

【定量的評価】

景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数:1件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



中村藤吉本店被災状況 (平成30年9月)



修理後 (平成31年3月)



岩井勘造商店被災状況 (平成30年9月)



修理後 (平成30年11月)

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況

歩道整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------	---

事業期間	平成21年度～令和3年度
------	--------------

支援事業名	社会資本整備総合交付金(道路事業)
-------	-------------------

計画に記載している内容	歴史公園と宇治川周辺の歴史・文化資源を結ぶ道路であり、歩道を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間を確保でき、宇治川周辺の回遊性の向上につながる。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市道宇治五ヶ庄線の歩道整備事業(L=100m)が完成し、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間を確保できた。平成30年度は、市道菟道志津川線の谷下り工区で一部歩道整備を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

市道宇治五ヶ庄線



【整備前】(平成22年5月)



【整備後】(平成30年3月)

市道菟道志津川線



【整備前】谷下り(平成27年4月)



【整備後】谷下り(平成31年1月)

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況

歩行空間整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------	---

事業期間	平成24年度～令和2年度
------	--------------

支援事業名	平成24年度～平成28年度: 市単独事業 平成27年度～平成31年度: 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
-------	--

計画に記載している内容 歴史公園と宇治川周辺の歴史・文化資源や白川集落を結ぶ道路に歩行空間を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できるようになり、回遊性の向上につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
平成30年度は、宇治川周辺の回遊性につながる散策路の1つである宇治233号線のフットライトの設置や舗装改修に取り組み、工事が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



宇治233号線 整備前(1) (平成28年4月)



宇治233号線 整備後(1) (平成31年3月)



宇治233号線 整備前(2) (平成28年4月)



宇治233号線 整備後(2) (平成31年3月)

評価軸③-6
 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	平成30年度
項目	現在の状況

無電柱化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------	---

事業期間	～ 令和2年度
------	---------

支援事業名	地域自主戦略交付金 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
-------	--------------------------------------

計画に記載している内容	道路の無電柱化を行い道路景観の改善を行うことにより、沿道の歴史的建造物との調和が図られるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

来訪者が歴史に触れながら散策できる快適な道路空間を確保するため、宇治川周辺の回遊性につながる散策路の1つである市道宇治228号線の無電柱化の設計に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

【整備前】(平成30年1月)

【位置図】



【整備後イメージ】



無電柱化に取り組むことで
 伝統的な沿道景観との調和や道路景
 観の改善を図る。

評価軸③-6
 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況

観光施設周辺浸水対策事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	---

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史・文化資源や歴史的まちなみの回遊性を確保するとともに、宇治川河畔の参詣や遊覧など歴史的伝統を継承する諸活動が行われている良好な市街地の環境を守る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

塔ノ島周辺地域において、塔ノ島第一排水機場及び塔ノ島第二排水機場の排水能力向上のための工事を実施した。また、併せて観光施設及び周辺道路の浸水を防止するため、市道宇治233号線の排水施設の改良工事を実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	塔ノ島周辺地域については、塔ノ島第一排水機場及び第二排水機場の排水能力向上のための工事を実施し、平成30年度に事業が完了した。 また、史跡宇治川太閤堤跡周辺地域については、史跡整備事業の中で整備を行っていく。
--	---

状況を示す写真や資料等

事業実施箇所



塔ノ島第一排水機場
(平成31年3月)



塔ノ島第二排水機場
(平成31年3月)



宇治233号線排水施設改良
(平成31年3月)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

観光サイン等整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成29年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 宇治市観光振興計画に基づき、国内外からの観光客が歴史・文化資源や歴史的まちなみ等を回遊しやすい環境を整備するため、観光サインや観光トイレの再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宇治市観光案内サイン整備ガイドラインに基づき、宇治神社前、観光センター周辺の2か所において、リノベーション6基、撤去9基の計15基の対応を行った。

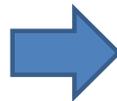
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	補助事業に基づく財政措置を行っており、国・府補助金の動向により整備の進捗に影響がある。

状況を示す写真や資料等

リノベーション(平成31年2月)



撤去&リノベーション(平成31年2月)



評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

建物修景助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------	---

事業期間	平成22年度～
------	---------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	歴史ある沿道景観の保全と形成を促進し、賑わいと風情あるまちづくりが推進される。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市は、特に景観に配慮すべき宇治市景観計画重点区域内の景観重要公共施設(道路)の一部沿道において、良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる建築物、工作物、その他(設計費等)について、助成を行うこととしており、平成30年度の申請は2件である。

【定量的評価】
 景観形成助成の件数 : 申請件数 2件
 (参考)29年度 : 申請件数 3件

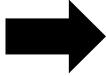
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



修景前 (平成29年12月)



修景後 (平成30年8月)

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

屋外広告物助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	---

事業期間	平成22年度～
------	---------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	景観阻害要因の減少とともに、歴史的な町並みと調和した賑わいと風情あるまちづくりが推進される。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしているが、平成30年度の申請は1件である。

【定量的評価】
 景観形成助成の件数：申請件数 1件
 (参考)29年度：申請件数 0件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



(平成30年12月)

宇治橋通りの商業施設の屋外広告物で、建物屋号のデザインされた銅製行燈及び藍染のれんに景観形成助成を行った。

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
宇治茶園支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度 ～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	減少傾向にある宇治市域の茶園の維持・拡大を進めることや、伝統的栽培方法を推奨することで、生産者の経済的負担軽減と活動意欲を支える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>高品質な宇治茶の生産を促進する事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行い、宇治独特の茶園景観の形成に寄与した。</p> <p>【定量的評価】 伝統技術継承対策事業の実施件数：17件(309.7a) 「ほんず」による生産は非常に手間暇がかかり、生産省力化である寒冷紗による生産に移行する状況の中、実施件数は平成28年度19件(363.6a)、平成29年度19件(320.9a)、平成30年度17件(309.7a)と推移している。本事業による実施面積は、年度ごとの申請内容により増減があるものの、実施件数は近年横ばいで推移しており、ほんず栽培の保存や技術継承に効果を発揮していると評価できる。 手摘み茶推進対策の実施件数：32件 手摘みを継続していくためには摘み子の確保が必須であるが、年々確保するのが厳しい状況であり、平成27年度以降実施件数が32件で推移しており、手摘みを継承していきたい茶農家の支えとなっており、手摘み茶の推進の効果を発揮していると評価できる。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p>伝統技術継承対策事業により支援が行われた「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況</p>		 <p>手摘み茶推進対策事業により実施された「お茶摘みさん」を募集するチラシ</p>	

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況

宇治茶品質向上事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 品質向上への意欲増進や栽培・生産技術の向上が図られる。また担い手育成に取り組むことにより、生業の維持が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

6月14日に宇治市で開催した宇治市茶品評会、7月31日から三重県で開催された関西茶品評会、8月28日から静岡県で開催された全国茶品評会(式典は12月14日に東京都で開催)への出品の支援を実施した。
茶品評会への出品を推奨することで、生産者の生産意欲を高めるとともに宇治茶の伝統的製法の継承につながった。

【定量的評価】

茶品評会出品数/入賞数 : 103点/54点受賞

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



全国茶品評会
(平成30年12月14日)



宇治市茶品評会
(平成30年6月14日)

品評会の実施状況

	第72回全国 茶品評会	第71回関西 茶品評会	第51回宇治市 茶品評会
出品数	38	36	29
優等数	/		2
1等賞	4	2	3
2等賞	7	7	5
3等賞	11	12	1
農林水産大臣賞	受賞	受賞	/
産地賞	受賞	受賞	/

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

宇治茶普及啓発事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民や来訪者が宇治茶に親しみ、宇治茶を理解することは、お茶のまち宇治の歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

10月7日に宇治川河畔一帯で開催された「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」等への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。
 なお、5月13日開催予定であった「市民茶摘みのつどい」は雨天のため、中止となった。

【定量的評価】

「市民茶摘みのつどい」の参加者数：雨天のため、中止
 平成30年度は、雨天のため、中止となったが、体験茶園面積の制限がある中、平成26年度以降は毎回約400人の参加で、平成29年度約500人に増加した。市民に広く浸透している事業であり、茶摘みという体験を通して、宇治茶への親しみや理解を深める効果があるものと評価できる。
 「宇治茶まつり」の参加者数：約41,000人（宇治茶まつり消費イベントと併催）
 各年度ごとに、複数の事業を同時開催しているもので、年度ごとの比較はできないが、平成30年度においても約41,000人の参加があり、市民や来訪者への宇治茶の普及啓発に効果があるものと評価できる。
 「市民素人茶香服大会」の参加者数：約60人
 平成27年度約100人、平成28年度及び29年度は約80人、平成30年度は約60人の参加があり、宇治茶への親しみや理解を深める効果があるとともに、茶香服という独自文化を認識させる効果があるものと評価できる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



市民素人茶香服大会の開催状況



宇治茶まつりの開催状況
(平成30年10月7日)

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

市営茶室対鳳庵活用事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成23年度 ～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 茶文化を体験できる機会を提供することは、市民や来訪者に宇治茶の品質や、茶業全般への関心や理解を促すことにつながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本格的教習屋建築の市営茶室「対鳳庵」において、表千家・裏千家・山莊流の3流派による抹茶や、小川流、二条流、瑞芳菴流、方円流の4流派による煎茶の本格的なお点前の実施により、茶文化の体験できる機会の創出とお茶への関心や理解を促す場を提供することができた。
 なお、平成26年4月より従来の抹茶の薄茶、煎茶のみのメニューから濃茶と薄茶、玉露と煎茶のセットメニュー及びお点前体験のメニューを追加することにより、利用者の増加や満足度を高める取り組みを行っている。

【定量的評価】

市営茶室でお茶席の利用者数 : 23,354人
 (参考)29年度 : 24,800人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



茶の湯の用意ができていることを知らせる“在釜”の札をかかげる市営茶室対鳳庵の露地門



本席(三畳向切)において抹茶点前で喫茶の様子

	入席者数	うち外国人
24年度	16,032人	4,889人
25年度	14,259人	4,259人
26年度	22,335人	6,059人
27年度	21,632人	7,198人
28年度	21,329人	8,442人
29年度	24,800人	11,803人
30年度	23,354人	11,858人

	濃・薄セット	玉露	玉・煎セット	お手前体験
26年度	248人	2人	2人	345人
27年度	118人	20人	5人	885人
28年度	181人	9人	6人	913人
29年度	134人	9人	0人	1,026人
30年度	106人	22人	27人	954人

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況

宇治川鵜飼助成事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成23年度 ～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 平安貴族の宇治川見物のひとつであった宇治川の鵜飼は、鎌倉時代に禁止されたのち、昭和初年に復活し、以降宇治川の夏の風物詩として定着している。多くの来訪者を楽しませる鵜飼を継承する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鵜飼事業の実施に支援し、7月1日(日)から9月30日(日)までの出船期間中に乗り合い船、ツアー団体、貸しきり船などで約4,325人の乗船があったが、台風等による宇治川の増水に伴い営業日数が大幅に減ったため、例年に比べると乗船者数は少なくなった。一方で、放ち鵜飼プロジェクトについてクラウドファンディングで支援を募り、一部の支援者を対象に特別内覧会を実施するなど放ち鵜飼実施に向けて積極的に活動し、宇治川での伝統行事として歴史的風致の維持向上に寄与した。

【定量的評価】

鵜飼乗船者数:約4,325人(増水・台風のため43日間の臨時休業があり、49日間の営業実施であった。)
 (参考)29年度 :約6,390人(増水・台風のため17日間の臨時休業があり、75日間の営業実施であった。)

《うみうのウツィー 孵化・成長》

平成26年・・・1羽 平成27年・・・2羽 平成28年・・・2羽 平成29年・・・4羽 平成30年・・・0羽

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後、さらなる集客に向けて放ち鵜飼の検討を行っている。

状況を示す写真や資料等



宇治川鵜飼の実施状況①



生後間もないウツィー



宇治川鵜飼の実施状況②



成長したウツィー

■鵜飼実績									
	営業期間			期間日数	休業日数	営業日数	乗船人数	(内乗合人数)	1日平均(人)
24年度	6月16日	～	9月23日	100	17	83	6,300	3,890	76
25年度	6月15日	～	9月23日	101	18	83	6,700	4,700	80
26年度	6月15日	～	9月21日	99	23	76	6,970	4,520	91
27年度	6月14日	～	9月23日	102	40	62	7,060	3,670	114
28年度	7月1日	～	9月30日	92	13	79	6,920	3,570	88
29年度	7月1日	～	9月30日	92	17	75	6,390	3,470	86
30年度	7月1日	～	9月30日	92	43	49	4,325	1,965	89

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況

宇治十帖スタンプラリー開催

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成23年度 ～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 近世から親しまれる宇治の遊覧の1つ『源氏物語』宇治十帖めぐりを定期的に設けることにより、多くの人に宇治川河畔の歴史的風致に触れる機会が創出される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

晩秋の宇治の風情を楽しみながら源氏物語宇治十帖ゆかりの地などを巡るスタンプラリーを4日間(10月27日・28日・11月3日・4日)開催し、宇治の歴史的風致に触れる機会が創出された。
 昨年同様、宇治市宣伝大使「ちはや姫」とご当地キャラクター「チャチャ王国のおうじちゃま」が参加するゆるきゃら(R)ポイントを設け事業を盛り上げた。

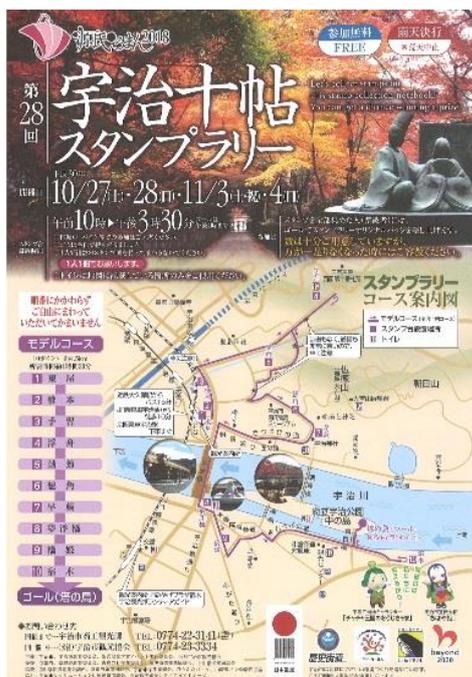
【定量的評価】

スタンプラリー参加者数: 13, 146人

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



スタンプラリー実施の様子

■宇治十帖スタンプラリー参加者数

	開催日数	参加者数
24年度	5	17,638人
25年度	5	16,598人
26年度	5	17,176人
27年度	5	17,744人
28年度	5	17,503人
29年度	5(内1日中止)	12,674人
30年度	4	13,146人

	評価対象年度	平成30年度
	項目	現在の状況

京都・宇治灯り絵巻の開催

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 かつては宇治川の蛍狩りが夏の夜の風物詩として、多くの来訪者で賑わいを見せた。現在宇治川で蛍を見ることはできないが、夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような夜の賑わいの創出につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

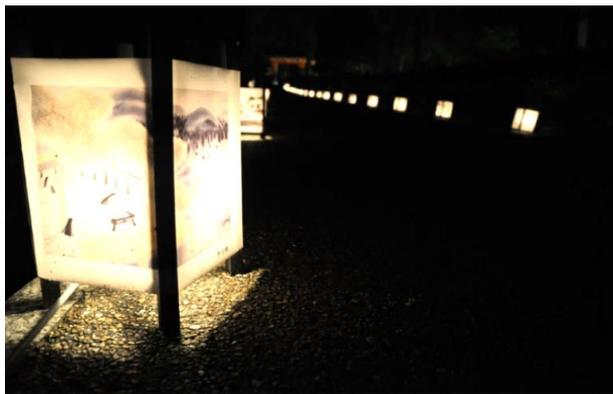
宇治川の鵜飼、植物公園の蛍ナイター、三室戸寺のライトアップや宇治市観光協会の会員13店舗等による行燈の掲出・点灯を継続して実施し、計画に記載している「夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような夜の賑わいの創出につながる。」という一定の効果が発現した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

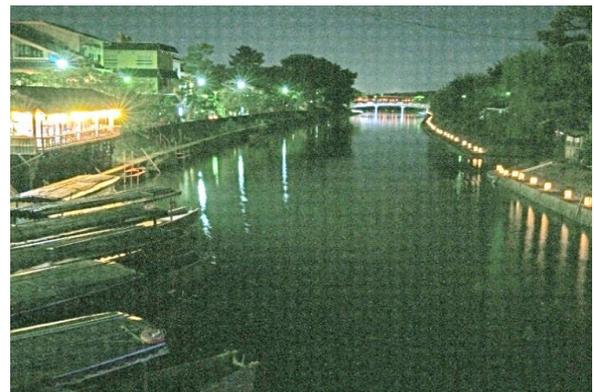
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

次年度以降も継続し、イベント等に合わせた灯りの演出に加え、京都府との連携により「京都花灯路」連携周遊事業にも取り組む。

状況を示す写真や資料等



三室戸寺のライトアップ



宇治川鵜飼のライトアップ

評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

文化財見学会	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------	---

事業期間	平成23年度 ~
------	----------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容 小学生を対象にした文化財の普及・啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながるため、次世代へと引き継ぐべき歴史的風致の維持向上に寄与するものである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・春の庵寺山古墳の一般公開	平成30年 5月26日(土)	10:00~15:00	約80人
・秋の庵寺山古墳の一般公開	平成30年11月10日(土)	10:00~15:00	約50人
・第28回小中学生の文化財見学会	平成30年11月24日(土)	13:30~15:00	59人
・宇治川太閤堤跡発掘調査現地説明会	平成30年 9月15日(土)	13:00~15:00	約100人

今回の見学会は、重要文化財萬福寺伽藍堂・祖師堂・西方丈の修理現場を見学した。西方丈では柿葺きの竹釘打ち体験を行い、貴重な体験をした。文化財見学会終了後の感想文コンクールでは、5本の作文が寄せられた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



庵寺山一般公開



宇治川太閤堤跡発掘調査現地説明

評価軸③-18
 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
歴史・文化啓発事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度 ～

支援事業名 文化的景観保護推進事業国庫補助、市単独事業

計画に記載している内容 多くの市民を対象にした歴史・文化の啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○歴史・文化啓発事業として、二子山古墳フォーラム、宇治鳳凰大学への出前講座を開催した。
 【定量的評価】
 二子山古墳フォーラム：H31年3月2日(土) 13:00～16:30 参加人数 150人
 宇治鳳凰大学出前講座：H31年1月22日(火) 10:00～12:00 99人

○「宇治学」(総合的な学習の時間)での探究的学習や協働的学習をより効果的に行うため、「宇治学」副読本を作成した。
 【定量的評価】
 「ふるさと宇治」をすべての人にやさしいまちに」(小学校5年生)を市内小学校全22校に配付。
 「「ふるさと宇治」と生きる ～これからの自分の生き方を考える～」(中学校2年生)を市内中学校全10校に配付。
 「「ふるさと宇治」の未来 ～私たちができること～」(中学校3年生)を市内中学校全10校に配付。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



二子山古墳フォーラム



「宇治学」副読本 小学校5年生用



「宇治学」副読本 中学校2年生用



「宇治学」副読本 中学校3年生用

評価軸③-19
 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況

文化的景観整備計画策定調査	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	---

事業期間 ~ 令和3年度

支援事業名 文化的景観保護推進事業国庫補助

計画に記載している内容
 地域の自然・歴史・社会的文脈を保全しつつ、次世代のまちづくりを考える文化的景観の保護の取組は、歴史的風致の維持向上と密接に関わるものであり、整備計画において、重要構成要素に特定された物件を対象に、所有者等の協力を得て宇治地区の街区構造の継承や茶業関係の家屋の修景など整備活用の具体的検討を行う。

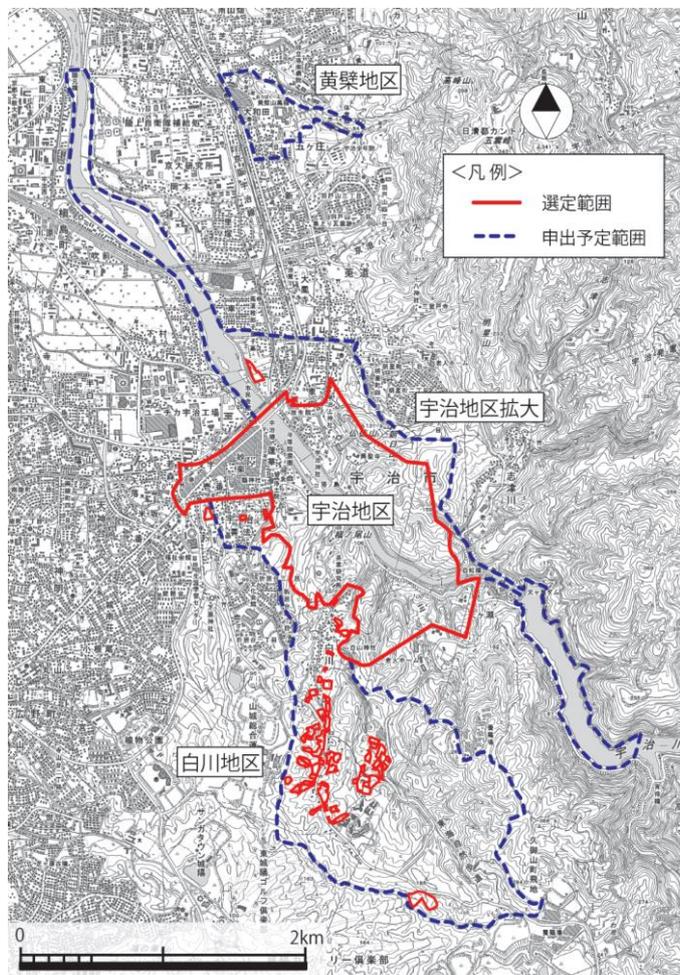
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度に策定した「宇治の文化的景観」整備計画の区域拡大(白川地区・黄檗地区)にむけて地元との調整を行った。また、重要構成要素の拡大に向けて、建造物所有者との協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 重要構成要素の拡大については、世代交代により建物を維持していくことに関して見通すことができないという所有者も多く、特に民家の保存についての問題が浮かび上がったが、要望している所有者もあることから、順次要望しているところから拡大していく。
--	--

状況を示す写真や資料等



宇治の文化的景観 拡大予定範囲



重要構成要素追加予定建物

評価軸③-20
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況

観光交通対策検討調査	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------	---

事業期間	平成25年度～
------	---------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容
観光シーズンになると自家用車が重点区域に集中し、来訪者で賑わう狭隘な道路での安全性の確保や、近年増加している自転車の来訪者への対策が講じられておらず、宇治の風情を損なうことがある。このような交通問題対策として、来訪時と来訪中の移動について総合的に対策を検討し、計画に基づき、様々な事業をパッケージ的に実施することにより、歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成30年度】
平成27年度から実施している周辺駐車場の情報発信や現地での誘導等による効果を確認するため、ゴールデンウィークにおける車での旅行時間の再調査を実施した。旅行時間について過年度と比較すると、平等院南門方面へ向かうルート(ルート①、②)では、宇治橋通りルート(ルート②)において延長が確認でき、平等院南門から帰るルート(ルート④)では、平等院県通り北向きルート(ルート④)において少しの短縮が確認できた。他のルート(ルート③)では大きな変化は見られなかったものの、入込客数の変動等が渋滞に影響している可能性が考えられる。

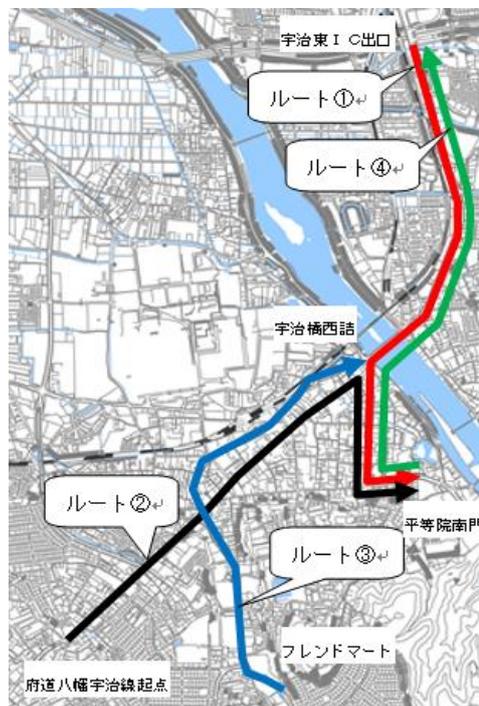
【今後の予定】
平成31年度にも、車の旅行時間調査を実施する予定としている。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) ・宇治の風情を損なわないよう、観光交通の対策として、駐車場の情報発信や現地の誘導等を実施している。 ・旅行時間調査における目標値の設定については、天候や様々なイベント等の実施により交通量が変動するので難しいが、数年間調査を継続し統計を取ることで、一定観光交通対策の効果が確認できるのではないかと考えており、調査結果が出た段階で実施している対策の検証を行っていく。
--	--

状況を示す写真や資料等

旅行時間の調査(ルート①～④にて実施:4ルート)



H30.5.4 旅行時間調査の状況

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

空き町家の活用検討調査	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	---

事業期間	平成27年度～
------	---------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	伝統的木造家屋を活用することは、賑わいと風情ある町並みの継承につながる。
-------------	--------------------------------------

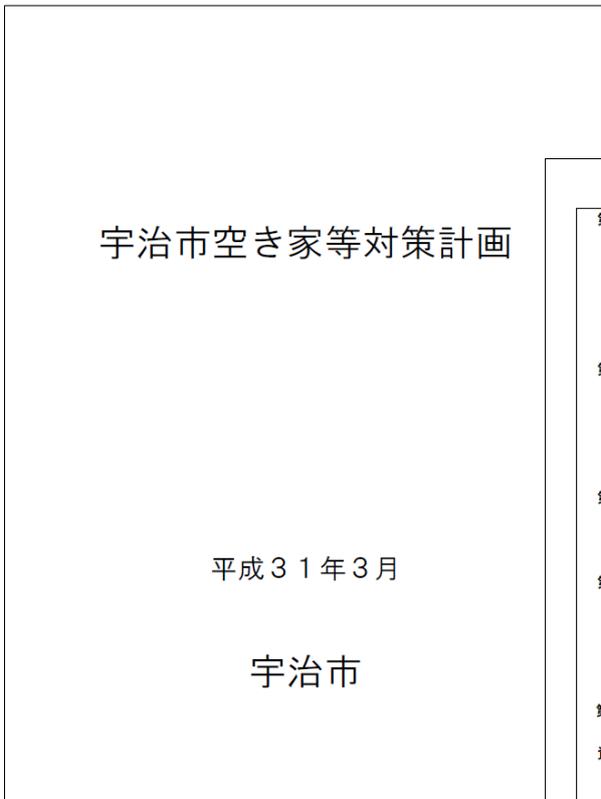
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は空き家等がもたらす問題に総合的に対応するため、宇治市空き家等対策計画を策定し、計画に定める取組方針に基づき施策を実施・検討することにより、地域の住環境全体の質の向上及び都市としての魅力を高めることを目指すこととした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市内では空き町家を含め空き家が増加しつつあり、その中には適正に管理されず、地域の生活環境の悪化につながっているものも見受けられる。 そのような状況を踏まえ、30年度末に策定した宇治市空き家等対策計画に基づき、今後、空き家の所有者等が適正に管理できるよう各種の支援施策を実施する。 また、空き家の利活用施策として空き家の再生・利活用コンペを実施する。併せて既に実施している景観形成助成金制度を拡充し、空き町家の利活用の促進へと繋げることを検討する。
--	---

状況を示す写真や資料等



◆ 目次 ◆

第1章 計画の概要	1
1. 計画策定の背景	
2. 計画の位置付け	
3. 計画の目的	
4. 計画の期間	
5. 計画の対象	
第2章 宇治市の空き家を取り巻く現状と課題	5
1. 住宅・土地統計調査の結果からみる空き家の現状	
2. 相談内容から見える宇治市の空き家の現状	
3. 市民意識調査等の結果	
4. 宇治市における空き家等の課題の整理	
第3章 計画の基本的な考え方	26
1. 基本方針	
2. 主体別の役割	
第4章 空き家対策の取組方針	29
空き家の各段階における取組方針	
取組方針1 管理不全な空き家等への対応	
取組方針2 管理不全な空き家等の発生抑制	
取組方針3 流通・利活用の促進	
第5章 空き家対策の実施体制	37
資料編	38
1. 宇治市空き家等対策計画策定委員会 設置要項	
2. 宇治市空き家等対策計画策定委員会 委員名簿	
3. 宇治市空き家等対策推進会議 設置要項	
4. 宇治市空き家等対策推進会議 委員名簿	
5. 宇治市空き家等対策計画の策定経過	
6. 宇治市空き家等の適正管理に関する条例	

評価軸③-22
 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

観光周遊道路の整備検討調査

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成28年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 来訪者が歴史に触れながら散歩できる快適な道路空間を確保することにより、宇治川周辺の回遊性の向上につながるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度には、宇治川周辺の散歩路のひとつである市道宇治228号線の無電柱化の実現に向けて引続き関係機関との協議・検討を実施するとともに、国土交通省所管の社会資本整備総合交付金に係る宇治橋周辺地区都市再生整備計画において本事業が採択された。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【現在】(平成30年1月)

【位置図】



無電柱化に取り組むことで
 伝統的な沿道景観との調和や道路景観の改善を図る。



【整備後イメージ】



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況
文化財の修理(整備を含む)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

(1) 国宝・重要文化財建造物
 宇治上神社本殿・拝殿(国宝)は、前回の屋根葺替から拝殿は35年、本殿は30年が経過して檜皮の傷みが顕著になっており、このため国庫補助事業による屋根葺替修理が計画されている。

(2) 重要文化的景観
 重要構成要素の家屋の修理・修景は、国の補助金の充当を可能とする市の分担金条例に基づき、文化的景観保存活用事業として進めている。

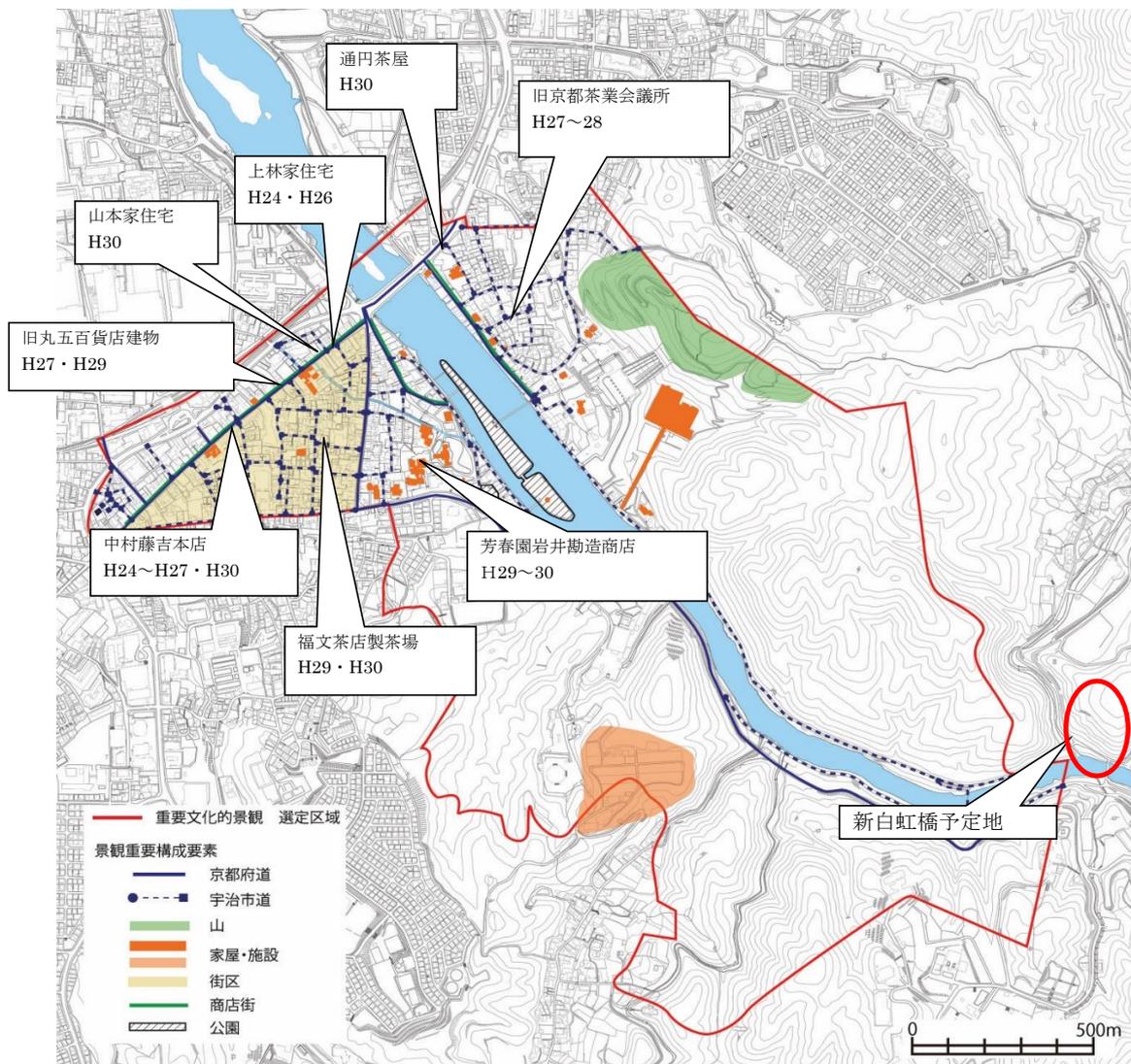
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(1) 国宝・重要文化財建造物
 国宝宇治上神社の修理は平成26年度完了。平成29年度は、国宝平等院鳳凰堂保存修理事業が行われた。

(2) 重要文化的景観
 平成30年度は景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数が1件(芳春園岩井勘蔵商店)と災害復旧に伴う修理が5件(通園茶屋、山本家住宅、中村藤吉本店、福文茶店製茶場、芳春園岩井勘蔵商店)行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	重要文化的景観の補助制度が平成28年度に変更となり、補助金に市の負担が入ることになったため、市の予算によって事業量が制限される。重要構成要素の家屋は、多くが個人所有であるため、事業計画から事業実施まで綿密にコントロールする必要がある。

状況を示す写真や資料等



宇治の文化的景観 修理箇所位置図

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 平成20年に発足した「宇治市文化財まもり隊」の活動は、文化財に対する保護意識高揚と地域の自主防災活動を促し、火災予防の徹底と災害が発生した場合の被害軽減を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財まもり隊は、自主消防隊を持つ平等院と、5年前に指定された恵心院以外の指定建造物に対して結成されている。平成30年度の文化財防火デーに行われた文化財防火研究会は萬福寺で行われ、防火訓練では大和田文化財まもり隊と自主消防隊が参加し共同で実施した。

また、平成27年の宇治上神社の汚損事件においては、最初に市の文化財担当部局に連絡があり、市から警察・京都府に連絡を行ったように、文化財所有者と密に連絡を取る体制を作っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



防火訓練の様子(萬福寺 平成31年1月)

文化財まもり隊一覧

文化財まもり隊名	対象文化財	指定区分
白山神社文化財まもり隊	白山神社	国指定
宇治上神社文化財まもり隊	宇治上神社	国指定
宇治神社文化財まもり隊	宇治神社	国指定
興聖寺等文化財まもり隊	興聖寺	市指定
巖島神社文化財まもり隊	巖島神社	市指定
八幡宮文化財まもり隊	八幡宮	市指定
十八神社文化財まもり隊	十八神社	国指定
三室戸寺文化財まもり隊	三室戸寺	府指定
許波多神社文化財まもり隊	許波多神社	国指定
大和田文化財まもり隊	萬福寺 蔵林寺	国指定 市指定

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況

文化財の保存及び活用の普及・啓発	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	---

計画に記載している内容 文化財に親しんでもらうことを目的とした市指定史跡庵寺山古墳の公開や小中学生を対象にした文化財見学会、発掘調査報告会、文化的景観フォーラム等を行っており、これらの活動や行事を通じて文化財保護の普及啓発に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財保護の普及啓発を図るため、次の事業を実施した。

・春の庵寺山古墳の一般公開	平成30年 5月26日(土) 10:00~15:00	約80人
・秋の庵寺山古墳の一般公開	平成30年 11月10日(土) 10:00~15:00	約50人
・第28回小中学生の文化財見学会	平成30年 11月24日(土) 13:30~15:30	約60人
・宇治川太閤堤跡発掘調査現地説明会	平成30年 1月27日(土) 13:00~15:00	約150人

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	庵寺山古墳の見学会では、古墳の見学だけでなく勾玉作りも行っており、小学生などに人気があるが、別の体験メニューも増やす必要がある。
--	--

状況を示す写真や資料等



小中学生の文化財見学会 萬福寺修理現場(平成30年11月)

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
埋蔵文化財の取扱い		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	重点区域内には「宇治市街遺跡」、「平等院旧境内遺跡」、「白川金色院跡」、「宇治川太閤堤跡」等の埋蔵文化財包蔵地があり、整備や活用に反映させることとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>二子山古墳は、宇治橋東方の丘陵上にある古墳時代中期の古墳で、昭和43年に発掘調査され豊富な副葬品が出土している。近年古墳周辺で開発計画があり、平成28年度に引き続き平成29年度も保存に向けた発掘調査を行い、文化財の申請に向けた準備を進めるとともに、開発事業者と保全の方法について協議を進めていたが、平成30年10月15日「宇治古墳群」を構成する古墳のひとつとして史跡に指定された。</p>			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



二子山古墳出土遺物

評価軸④-5 文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

文化財の保存・活用に関わる住民・NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------------------------	---

計画に記載している内容
 お茶どころ宇治の個性を磨くため、宇治茶園の覆下栽培を維持・拡大するための支援事業、宇治茶製法技術保存会への助成事業、「宇治茶まつり」などの実施団体への助成事業など、宇治茶の品質向上・普及に努める農家や団体等への各種支援を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高品質な宇治茶の生産を促進する高品質茶推進事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行った。

また、10月7日に宇治川川畔一帯で開催された「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」等への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。

【定量的評価】

- 「伝統技術継承対策」支援事業の実施件数 : 17件(309.7a)
- 「手摘み茶推進対策」の実施件数 : 32件
- 「宇治茶まつり」の参加者数 : 約41,000人
- 「市民素人茶香服大会」の参加者数 : 約60人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



伝統技術継承対策支援事業により支援が行われた「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況

報道等タイトル	年月日	評価対象年度 平成30年度 掲載紙等
神馬が勇ましく馳せる	平成30年6月9日	城南新報
悪疫退散を祈願	平成30年6月9日	洛南タイムス

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宇治市の維持向上すべき歴史的風致には「遊覧と参詣」「茶どころ宇治」「宇治に伝わる祭礼」の3つを挙げている。「宇治に伝わる祭礼」の歴史的風致として、市の無形民俗文化財第1号(2012年指定)であり伝統的な行事である「大幣神事」が報道された。古式の装束を身に着け中世以来の祭具を持た大幣の行列が巡行する様子は、宇治で数百年にわたって培われ積み重なってきた歴史の厚みがまちなかに放散されるような風情と賑わいを伝えている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

騎馬神人、中宇治を駆ける

新茶の香りが漂う茶どころ宇治に夏祭りの到来を告げる県(あがた)神社=宇治蓮華、田鍛到一宮司=の「大幣(たいへい)神事」が8日、中宇治地域で繰り広げられた。市の無形文化財の第1号に指定された行事を見ようと、県通りや宇治橋通りには市民や観光客が訪れ、無病息災を祈った。【写真は宇治神社御旅所前での勇壮な馳馬神事】=4面に写真特集=



県神社で大幣神事 悪疫退散を祈願

神事は午前10時から県神社境内の大幣(たいへい)神事。騎馬神人が約70人が県通り、宇治橋通りを経て宇治神社御旅所前まで市街を練り歩いた。ハイライトの馳馬(はせうま)神事で、宇治大学術部の神原千尋さん(21)が騎乗した馬が車道の脇を走り、大幣(たいへい)神事(お供衆、供奉)の祈願を祈った。

所前、一ノ坂の府道を4往復。スタート早々に幣輪がはずれ、馬が坂道途中で走るのをやめるハプニングもあったが、首尾よく馳馬神事を披露し、大勢の見物人から盛大な拍手が起きた。行列は本町通りを再び県神社に向けて戻り、街中の厄病を封じ込めたる本松を配した全長60mの大幣(傘御幣)を引き、約14人の若衆が「ワッショイ、ワッショイ」の掛け声に合わせて走り、約400mほど(二気)に駆け抜け、宇治橋から水豊かな宇治川に大幣を投げ込んだ。【両幸一】

菟道小児童も行列に 神馬が勇ましく馳せる

菟道小児童も行列に 神馬が勇ましく馳せる

菟道小児童も行列に 神馬が勇ましく馳せる

大幣神事 災厄払い

大幣神事 災厄払い

大幣神事 災厄払い

供養として行列に別れた菟道小児童たち

供養として行列に別れた菟道小児童たち

供養として行列に別れた菟道小児童たち

報道等タイトル	年月日	評価対象年度 平成30年度 掲載紙等
コース短縮も大勢が参加 宇治十帖スタンプラリー	平成30年10月28日	洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宇治市の維持向上すべき歴史的風致には「遊覧と参詣」「茶どころ宇治」「宇治に伝わる祭礼」の3つを挙げている。現代版の「遊覧と参詣」ともいえる「宇治十帖スタンプラリー」に参加者が年々増え、今回も多数の参加者があるだろうとの期待から初日の様子が報道された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

コース短縮も大勢が参加

宇治十帖スタンプラリー

宇治の秋を彩る第28回「宇治十帖スタンプラリー」が27日から始まった。参加無料。コースは今年度から

宇治十帖の古跡10ポイントを巡る『基本』(約4・5キ)のみに縮小した。市財政が厳しく昨年度まで実施してきた「健脚」(約13・5キ)は廃止。時間も午前10時〜午後4時(昨年度午前9時30分〜午後4時30分)に短縮した。

特別ポイントもなくなり、

足腰に自信がある愛好者には少し物足りない内容となったが、親子連れらが笑顔でポイントを回った。

スタンプラリーはきょう28日、11月3、4日に開催。合計4日間で、昨年度より1日短くなった。



楽しくスタンプを押す子供たち

評価対象年度	30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:宇治市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時:平成31年4月19日 10:00~12:00	
<p>(コメントの概要)</p> <p>【計画全般に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画(10年間)のスパンが短く、大きな将来的展望を基に計画が立てられていない。 ・計画を毎年度達成していくというのも大切なことだが、20~30年後を見据えた景観づくりをして欲しい。 <p>【歴史公園整備に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の計画では太閤堤が中心の計画であったが、宇治の観光拠点という形に変わり、良いと思えるようになってきた。 ・計画が出てきた時点で、協議会のなかで十分に議論ができていないと思っている。仕様書を作成する段階で、意見を言う機会が無かった。 ・今後、協議会と宇治市で打合せや情報交換を行う際に、部会のような形で対応したい。 <p>【文化財に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この数年で国・府の名勝指定が数件あり、今後、宇治市の名勝指定も増えていくのではないと思う。 ・宇治山については、どのように景観を残していくのか課題もあるが、この数年で文化財の調査がかなり進んでいる。 ・日本の文化財保存は、多数指定の環境保存主義に変えていかなければいけない。 ・エコミュージアムを参考にして、活用型に変えていってほしい。 <p>【景観に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観法による景観重要建造物として指定し、保存・活用することは必要だと思う。 ・景観形成助成では、1件あたりの補助額を増額するより、件数を増やして裾野を広げていく方が良いと思う。 ・駅から観光施設までのルートを、自然に目に入ってくる景観でうまく誘導していくことが大切である。建造物等を単体で指定することも良いが、集合体で指定を行うことにより、景観ルートとしての役割が期待できる。 ・文化、経済、景観など総合的に考えていく必要がある。 <p>【宇治茶に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の茶文化としての宇治茶は、特別なものであり、文化的な意味を持つものである。 ・農産物としての宇治茶だけではなく、日本の茶文化としての宇治茶について考える必要がある。 <p>【空き町家に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策については、横方向の連携を組んで空き家対策等に踏み込んだことは、大きな第一歩であると思う。ただし、具体的にどのような対策を実施していくのが課題である。 ・幅広い観点でどう活用するのか検討してほしい。 ・建築家やコンサルを含めた実働的な作業人員が必要だと思う。 <p>【中間評価に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この数年間で宇治橋通りが明らかに変化してきており、このような変化を波及効果として書いても良いのではないかと。 ・国や京都府と連携して良くなった部分についても、記載した方が良い。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとつの部署で文化財と都市計画に関する行政を行っており、良いことだと思う。他市ではあまり見られない。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>【計画全般に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画等の長期的な展望との整合を図りながら計画の取組を進めるとともに、第二期計画についても検討を行っていく。 <p>【歴史公園整備に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者、協議会、庁内関係部署など、関係機関と連携しながら取組を進めていく。 <p>【文化財に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存活用計画の策定を進める中で、文化財の活用方法を検討していく。 <p>【景観に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化的景観などの施策と連携し、景観に関する規制・誘導や、景観重要建造物指定、景観形成助成を進め、地域全体の良好な景観の形成を図っていく。 <p>【宇治茶に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史公園整備において、お茶に関する展示を予定しており、農産物としての宇治茶だけでなく、宇治茶の文化等についても情報発信を行っていく。 <p>【空き町家に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内の連携を図りながら、所有者等の調査を進めるなかで、どのような利活用が可能であるか検討を行っていく。 	